

ほんごう

富山高等専門学校本郷キャンパス同窓会会報

No. 18 2014年(平成26年)10月発行

〒939-8630 富山市本郷町13番地
富山高等専門学校本郷キャンパス同窓会
発行責任者 石山 彰 雄
印刷 / 株式会社 宮越印刷

平成26年度 **ほんごう会大懇親会** に 多数の参加を!!



ほんごう会大懇親会 (平成26年度総会)

場所 / ホテルグランテラス富山
(旧名鉄トヤマホテル)

会費 / 30才未満及び女性 ¥ 3,000
30才以上の男性 ¥ 5,000
新 卒 者 無 料

恩師の先生方にも御案内しています。

なお出席の方はメール、FAX または同封の
はがきにて、**10月25日まで**にお知らせ下さい。

11月1日(土)

PM5:00~ 講演会
瀬戸教授 他

PM6:00~ 懇親会 (総会)

詳しくはほんごう会ホームページ

ほんごう会 検索

または、同窓会メールまで

E-mail: info@tk-hongou13.net

いっぺんこられまあー



「近況報告とご挨拶」

校長 石原 外美

同窓会の皆様には、益々ご清栄のこととお喜びを申し上げます。平素から、母校の教育・研究活動に対し格段のご理解、並びにご支援を賜っておりますことに、まずは厚く御礼を申し上げます。

皆様ご存知のように、統合改組となった富山高専の第一期生が平成27年3月に誕生します。現在、本郷と射水両キャンパスの合同卒業式実施のための準備を進めております。また、同年4月には、改組後の専攻科に新専攻生を迎え入れることとなりますので、そのための諸準備に精力的に取り組んでおります。さらに、専攻科入学生のため、特例認定専攻科の審査が進行中です。審査が成功裏に進み、本校専攻科が特例認定専攻科となれば、本校専攻科修了生は、学位授与機構の審査を受けなくとも、学士号を授与されます。

また、本高専では、平成27年10月、「創立50周年記念行事」を富山市において実施します。現在、教職員一丸となって記念行事開催準備を進めております。

さて、少子高齢化、緊縮財政の進む日本では、高等教育機関が社会に如何に貢献するかが、真剣に問われております。また、グローバルな視点で活躍でき、かつイノベーションを創成できる人材の養成が大事であることが強く認識されております。

富山高専では、平成26年4月製品開発本部を設置しました。これは地域の企業が必要とする製品開発や企業人教育を学校として支援することを通じて、社会における本校の役割や貢献を認知してもらうことを目的とするものです。また、本校

では、現在、北アイルランド、ハワイ、中国、シンガポール、タイ、ハンガリー等にある教育・研究機関との間で学生交流活動を着実に進めております。キャンパスの国際化を実現することにより、学生諸君の勉学への意欲を高め、そして最終的にはグローバル人材養成につながるよう力を注いでいるところです。加えて、教員間の交流を進めるために、上記国々の大学と連携し、国際研究シンポジウムの開催並びに共同研究の実施を積極的に進め、本校のさらなる活性化、社会におけるプレゼンスの向上に努めたいと考えています。この9月、11月にはそれぞれ中国東北大学、タイのキングモンクット工科大学において国際シンポジウムを開催する予定です。

同窓生の皆様方には、以上の本校の取り組みをご理解いただき、益々のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に同窓生の皆様方の増々のご健康とご多幸を祈念し、私のご挨拶と致します。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



高専大会表彰式



「歴史教育」のめざすもの

一般教養科 瀬戸 薫

私は、平成16年から富山高専にお世話になって、11年目になりました。2年間ずつ3度担任したうち、2度目の学生諸君と一緒に卒業させていただきました。

高専の最初の印象は、雉の鳴声で目覚め、霊峰立山の秀麗な姿を仰ぎ見る、環境の素晴らしさでした。毎朝、校庭の安全を点検するかのように見守る雉の姿は雄々しい限りでしたし、カルガモのように母雉に引率される雛鳥は微笑ましく、新入生の姿に重なって見えました。「立山の美しさを富山県人は富山を出て初めて認識する」と、同僚教員から伺いましたが、学生諸君の言動から実感しました。

この11年で、沢山の出会いをいただきました。専ら「手書き文字」の世界で生き、パソコンに触れたこともなかった私が、50過ぎての手習いで曲がりなりにもパソコンで作問できるようになったのは、「手書きの問題は読みにくくて、全体像をつかめない」と指摘してくれた学生のお蔭です。教職員の方々には、辛抱強くおつきあい願ひ、様々の面で支えていただきました。

卓球部顧問の1人としても、多くの出会いをいただきました。同窓会からのご支援には心から感謝申し上げます。優秀な学生諸君のお陰で、四国から北海道まで何度も遠征しましたが、実はそのたび毎に苦慮したのは、費用の捻出でした。現在は、担当教職員の叡智と学校後援会のご理解で、だいぶ改善されていますが、今後ともご支援を宜しくお願いします。

専攻の面で嬉しかったのは、芳春院まつ（前田利家正室）の自筆の手紙50通に出会えたことです。

射水市の新湊博物館に寄贈されたもので、富山高専にいたからこそ声をかけて貰えたと感謝しています。在職中には実現しませんでした。写しを含めて数百通残る彼女の手紙の全文刊行を当面の目標として、今後も作業を継続していく所存です。さて、「歴史が嫌いだから高専に来たのに、歴史で悩まされるのは心外だ」という学生の数は、年々増加しています。文科省は「日本史教育はペリー来航以後でよい」とする暴論を提示しました。従来の高校教育では、近・現代史は時間不足で等閑にされて来たのも事実ですし、「平和教育」の美名のもとに、戦前の歴史を否定的に捉えて来たこと（いわゆる自虐史観）も間違い有りません。

しかし、膨大で意図的な歴史教育を背景に暴行を繰り返す隣国と対等につき合うためには、自国の歴史を是々非々で捉えることが必要な時期にきています。自国の歴史を棄てて近代化を急ぎ、その誤りを外国から指摘された明治維新政府の轍を踏む必要はありません。

日本の歴史の85%が「縄文時代」ですから、その理由を肯定的に捉える必要もあります。未開で自然に左右された厳しい生活という従来の視点は既に否定されています。弥生時代との区別も解消されつつあります。定住生活が5,000年も続いたのは、自然と共生した豊かな生活だったという見方です。それが破綻したのは環境問題（排泄物の処理等）だったという指摘は、高専の今後の研究課題を考える上でも有意義な視点なのではないでしょうか。



富山高専創設50周年

同窓会長 石山 彰 雄

既に御案内のとおり、富山高専より50周年記念事業の一つとして募金趣意書が送付されているものと思われま。募金目標額は5000万円で、来年8月31日迄の募金期間としていますので是非御協力の程お願い申し上げます。

来年10月2日にはオーバードホールにおいて記念式典が開催されますので多数の参加を期待しています。

同窓会の本年度事業として会員名簿発行作業があります。来年、年明け頃より名簿製作専門業者である株式会社サラトより同窓会名において、住所・氏名など名簿登載希望内容につき連絡があると思われま。御協力の程よろしくお願ひします。

今年同窓会総会は11月1日(土)にホテルグランテラス富山にて開催します。是非御出席下さい。

今年度の卒業式は、統合後初めての卒業生の誕生となり、オーバードホールにて本郷キャンパス、射水キャンパス合同の卒業式が挙行されます。

同窓会組織においても、現在は本郷キャンパスと射水キャンパスにてそれぞれ「ほんごう会」と「北斗会」が存在していますが、統合後の組織形態を現在模索中で、卒業式までには何らかの方向づけが必要と思われま。

毎年11月中旬のロボコン全国大会が実施される前日に開催している全国高専同窓会連絡会は、本年第6回目にしてようやく会則と方向づけの決定がなされそうです。

全国同窓会連絡会(連合会?)の使命は、当然ながら高専制度の実質的な制度改革を目指すものです。

そのための全国高専同窓生の結集を図ってゆきたいものです。是非富山高専同窓生の御理解を賜ります様お願い申し上げます。

平成25年度富山高専本郷キャンパス同窓会事業報告(抜粋)

平成25年度事業計画に基づき、それぞれの事業を実施すると共に学校・後援会との連携を更に深めるため、三者懇談会、各種行事などにも積極的に参加した。

産学連携を深めるための富山高専技術振興会にも、同窓会として積極的に参加した。

全国高専同窓会連絡会へも参加し、情報交換等を行った。

◎ 具体的事業

1. 同窓会総会・定時理事会・常任理事会の開催

①同窓会総会 11月3日(日)文化の日

ホテルグランテラス富山

出席者 正会員 30名

特別会員(教官) 8名

講演会 丁子 哲治 教授、立野 彰 教授

②定時理事会 6月22日(土)

ボルフアートとやま

理事総数 215名

出席者数 8名(委任状提出者71名)

③常任理事会 年間4回開催した。

2. 会報の発行

会報(No.17)を発行した。

3. 富山高専・後援会・同窓会の三者懇談会開催

平成25年9月6日(金) 午後6時 高志会館

4. 卒業祝賀会を共催

後援会との共催により、卒業式終了後、卒業生・修了生に対する祝賀壮行会を開催し、同窓会への積極的参加をアピールすると共に、各クラス代表者(理事予定者)へ活動助成金を交付した。

5. 在校生・学生会への助成

- ・写真部、野球部及びタイ留学生支援活動に対し、それぞれ助成金を交付した。
- ・ロボットコンテストでの頑張りを期待してロボコン部へも助成金を交付した。

6. クラス会・クラブOB会活動への助成

- ・クラス会助成4件。

7. 全国高専同窓会連絡会への出席

平成25年11月23日(土)

東京 お茶の水ホテルジュラク

8. 技術振興会への出席 理事会・総会

平成25年10月31日(木)

ホテルグランテラス富山

法人会員 135法人

個人会員 12名

平成26年度 富山高専同窓会事業計画案

同窓会が、会員に身近なもので、気軽に参加できる体制作りと在校生を含めた広報、P.R.活動を積極的に実施する。

又、後援会及び学校側と共に富山高専のより良い伝統の構築を目指して活動する。

産学連携の特徴である技術振興会のP.R.と支援。

全国の高専同窓会及び卒業生などとの連携・協力を推進する。

具 体 的 事 業

1. 総会・理事会・常任理事会の更なる活性化

理事・常任理事等役員には、それぞれの立場での自覚を促すと共にきめ細かい出席要請を実施する。

今年の総会は、11月3日が月曜日なので11月1日(土)に開催する。

例年どおり、総会に先立ち講演会を実施する。

2. 会報の充実

会報編集委員会の充実により、より親しまれる会報を目指す。

3. クラス会・クラブOB会活動への助成

同窓会活動の活性化につながるクラス会・クラブOB会開催に対し助成する。

助成金(1万円)の拠出条件

- ① 10名以上によるクラス会・クラブOB会の開催
- ② 写真と会報用の簡単な原稿を提出
- ③ クラス代表(理事)・クラブOB会代表からの申請(年1回のみ)

4. 富山高専・後援会・同窓会の三者懇談会の開催

年間行事の打合せ等、情報の交換により、富山高専のより良い伝統の構築を目指して活動する。

5. 卒業・修了式後の祝賀壮行会の開催について検討

本年は新制度による卒業生が誕生するため従来と異なる催しとなることが考えられ検討を要する。

6. 在校生・学生会への積極的助成

在校生に活気を与える積極的な助成を考慮してゆく。

7. ロボットコンテストへの助成

富山高専のロボットコンテストにおける成績向上を目指して同窓会としてできる支援を考慮する。

8. 在校生への講演会の実施

卒業生の社会での活躍をじかに感じてもらい、同窓会をP.R.する。

9. 全国組織への積極的参加

「ヒューマンネットワーク高専」及び「全国高専同窓会連絡会」と連携し情報の伝達を行う。

10. 富山高専技術振興会のP.R.と支援

技術振興会の設立趣旨を会員に広くアピールすると共に同窓会員も積極的に振興会へ参加してもらう様広報する。

技術振興会の事業に対しても積極的に参加する。

11. 50周年記念事業に対し積極的に参加する。

同 窓 会 役 員 名 簿

	回 生	氏 名
会 長	M 3	石 山 彰 雄
副 会 長	M 4	丸 山 治 久
副 会 長	M 6	布 村 敏 夫
常 任 理 事	M 5	長 浜 啓 一
〃	E 5	山 田 直 樹
〃	M 8	宮 越 成 幸
〃	C 10	打 出 孝 彦
〃	K 8	奥 野 耕 市
〃	C 6	安 田 賢 生
関 東 支 部 長	M 1	長 谷 治 男
監 事	M 1	浜 下 朝 夫
〃	E 2	竹 中 直 志

会員のひろば クラス会・OB会情報

E2同級会

本年8月9日(土)に富山市内にて5年毎の同級会を開催しました。1, 2年生の担任をしていた石川 克先生の訃報を聞いた中での開催となりましたが、恩師の小川先生、武田先生を迎え、総勢16名での歓談はあっという間でした。卒業から45年、団塊の世代と言われ、企業戦士でもあった世代でしたが、65才という節目の年を迎え、サラリーマン生活を卒業した人、引き続き第二、第三を選択している方、すでに年金生活などとそれぞれが多彩な人生を送っている中での集まりであり、卒業以来の再会の方もありで感慨深



く、生きざまを語り合った有意義な会でありました。次回は3年後、これからは健康が大事だよとお互い口にしながらか再会を約し、会場を後にしました。

(幹事 大巻憲五)

C27クラス会 (平成7年3月卒業)

平成26年8月16日(土)、C27のクラス会を6年ぶりに開催しました。帰省のタイミングと合わなかったり、子供の都合等で忙しかったりと、多く集まることはできなかったのですが、今回は担任をして頂いた大野先生、布本先生をお招きし総勢15名で楽しいひと時を過ごしました。先生方のお元気な姿を拝見し、とても嬉しく思いました。卒業アルバムを確認し、当時の自分達の姿を認識しつつ、現在の近況を互いに報告し合いました。私たちも卒業からまもなく20年経過しようとしており、十何年ぶりに会う顔もありましたが、顔を見た瞬間にまるで昨日会ったかのような感じになり、話が盛り上がりました。



私たちのクラスは25歳のときに2人の仲間を失うという悲しい出来事がありました。仲間の冥福を祈りつつ、また皆で集まることを約束して締めくくりました。次は冬季開催。来年かな。

幹事 C27 吉田功

女子バレーボールOG会

去る平成26年8月16日、女子バレーボールOG会を開催致しました。

会場は『焼きはまぐり 創や』でした。(店長さんは、元・機械科ハビロ氏)

例年10数名の参加があるのですが、今回は都合がつかない人が多く、旧姓カネコ・ハンニャ・イナバ・ジケ・ヨコミチの5名が参加しました。



平成4年創部の女子バレーボール部の初期メンバーが、毎回県内外から集合し、思い出話や近況を語り合っています。

夏の合宿と称して、青春18切符で鈍行を乗り継いで京都や長野のユースホテルに宿泊した思い出。

北陸高専大会で、金沢高専が主幹校だった際、ルネス金沢に宿泊しリゾート地のような大浴場で大はしゃぎした思い出。

そしてお約束のコイバナなど、高専時代のあんなことやこんなこと、諸々の思い出話に花が咲き、あやうく終電を逃しそうになった人もいました。

次回はフルメンバーで開催したいと思います。

C28 小竹康子

M42 クラス会

平成 25 年 12 月 29 日(日)に毎年恒例の機械工学科の同窓会兼忘年会を開催いたしました。

参加人数 33 名中 28 名参加という参加率 80% 超え!幹事は永久名誉幹事のタムケンさんです。

私は永久名誉会計係です。私たち M42 機械工学科は年にお盆と年末に同窓会を開催しています。

お盆は 1 泊 2 日の BBQ を行っていますがこちらも参加率が高く、毎年仲間愛を感じています。去年ついに M42 から結婚者が出てきています。中には、婚約破棄した者もいますが・・・笑

結婚式はクラスみんなでお祝いしました。次回はお盆です!! それまでお元気です!!

(永久名誉会計係 松井大貴)



お盆



年末

C6 卒業40周年 記念クラス会

富山高専の工業化学科を卒業してから、40年。毎年、12月30日にクラス会を行っていますが、今年は還暦を迎えることから一泊での記念クラス会となりました。

場所は高岡の「磯はなび」でした。平成 25 年 9 月 22 日(日)の佳日、全国そして海外から仲間が大集合。26名も集まりました。当日は記念写真を撮ったあと、亡くなった方への黙とうをし、卒業アルバムなどの写真を投影しての Photo 回想、1~2分のスピーチなどで楽しく語らい、アツという間に時間が過ぎてしまいました。

宴会が終わって2次会はラウンジでのカラオケ大会、そして3次会は部屋に戻っての飲み直しでした。明日もあるのに夜遅くまで皆元気だなあーと思いました。

翌日は磯はなびの玄関前で再び記念写真を撮った後、ゴルフ組(花尾CC)を見送り、残り組は暫くして高岡観光(瑞龍寺、山町筋など)に出掛けました。

40年前の当時に戻り、2日間本当に楽しいひと時を過ごしました。そして、これからも毎年クラス会を続けていくことを再確認して別れました。



M8 同級会

平成 26 年 8 月 16 日(土)午前中に雨の中ゴルフに参加したグループと合流して午後 6 時 00 分から富山市千歳町 パレブラン高志会館にて M8 の同級会を開催しました。

来年 還暦を迎えるにあたり、毎年集まろうと決め、持ち回りの幹事のご足労により出席数 17 人でした。

去年は来れなかったが、今年は出席という者、毎回、顔を見せる者。久しぶりに見る顔は昔の面影はあるがそれなりに変化？

話題は、健康と定年が中心でした、来年は、呉羽ハイツ等、近くの宿に泊まりで何人か先生を招待して行なおうということになり、次の幹事に一任

しました。

余談ですが、隣の部屋で岩瀬中学昭和 44 年卒業生の同窓会が行われており、受付をしている時に高専でのクラブの先輩と対面し懐かしさで別な意味で盛り上がりました。

来年は還暦祝い。今回、出席できなかった者も是非、出席して下さい。

(幹事 大橋(嘉)。文責 宮越成幸)



陸上部 OB・OG 会報告

毎年恒例の陸上部 OB・OG 会。今回で 33 回目になります。例年 8 月 15 日に母校のグラウンドにて行ってきましたが、今年は学校側の都合もあり、初めての 14 日開催となりました。参加者が例年より少なくなりましたが OB・OG 総勢 20 名が参加しました。

陸上部 OB・OG 会では、1 年間に OB が参加した陸上イベントの報告などを行う総会と OB・OG・現役部員の参加による記録会が行われます。

総会では、年々この時期に母校のグラウンドを借りるということが難しくなっていることを報告しました。皆の気持ちは、自分達が走り込んで練習したこの母校のグラウンドに再会し、そしてまた走りたいという思いがあふれており、今後も母校開催をとという意見が多くでてきました。総会での意思から、来年度も母校開催につなげたいと思います。



総会のあとは恒例種目(1500M、50M、100M、走幅跳、砲丸投、5000M)の記録会です。今年も現役選手達が自主的に参加してくれており、一緒に楽しく走り・投げて・跳びました。自分の体の状況を確認しながら、無理をしないようにしていましたが、いざ始まると皆真剣なまなざしで今の自分の限界に挑戦していました。

OB 会では現役への補助活動を行っていますが、今後も積極的にこの高専本郷の陸上部活動が盛んなることを応援し続けます。

陸上部 OB 会長 C27 吉田 功

C8 同級会

「お～いっ！元気か～っ、元気だぞ～っ」
の合言葉のもと、去る8月15日に工業化学科8回
生（C8）の同窓会を開催！最近、幹事の怠慢も



あり、同窓
会を開くこ
ともままな
らぬ状況で
した。今回
は、影の幹
事の努力も
あり、同窓

生16名（出席率50%でかなり優秀？）が集まり熱
いひと時でした。卒業38年の経年変化と体形や髪
形の劣化の為か、最初は顔と名前が一致しない有
り様でしたが、5分も立たないうちに学生時代に戻
り、大いに盛り上がりました。学生時代の思い出、
仕事や家族、そして60歳以降はどうする?!等の
話をし、途中2名の物故者への黙祷もしている内
にあっという間に時間が過ぎました。

最後に、60歳を迎える来年はお互いに連絡を取
り合い、新幹線に乗って遠方からの参加者も加え
今年以上の会を開くことをお互いに確認して終わ
り！でした。

「また行くぞっ！また来いよっ！」

工業化学8回 松永政次

同窓会助成部活紹介

平成26年度 ロボコン報告

今年度のロボコン競技課題は、「出前迅速」です。
そばの盛りつけなどに使用する蒸籠（せいろ）を、
ロボットがスタートからゴールまで運ぶ競技です。
運ぶ蒸籠の総数は60枚、それを3分で運ばなけ
ればなりません。さらに、スタートからゴールま
では、3つの障害物ゾーンがあります。

1つ目は、スラロームゾーンです。ここでは、
蒸籠を崩さずにコーナリングする技術が必要にな
ります。2つ目は、角材ゾーンです。さまざまな
間隔で配置された、高さ90mmの角材を乗り越
えなければなりません。3つ目は、坂ゾーンです。
蒸籠のバランスを保ちながら、坂を上って下るこ
とが必要になります。

今回、僕たちが
ロボット作りで重
点を置いたのは、
蒸籠のバランスの
取り方と角材の乗
り越え方です。

まず、蒸籠のバ
ランスの取り方
では、加速度センサ
を用いたモータ制御で解決しようとしています。
加速度センサで蒸籠を支える腕の傾きを求め、そ
のデータを元に縦方向と横方向に腕を傾けるモ
ータを動かし、バ
ランスを取ろう
としています。

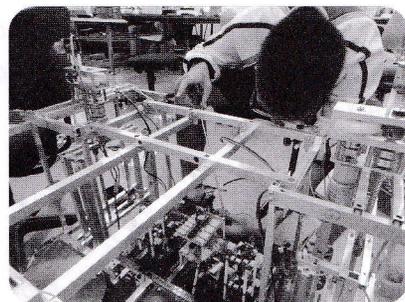


次に、角材の
乗り越え方では、

タイヤとクローラーの併用と超音波センサを用い
た制御で解決しようとしています。超音波センサ
で角材を検知し、飛行機のようにタイヤを地面か
ら上げます。そして、クローラーを回し角材の上
を進みます。タイヤが角材を通り過ぎれば、タイ
ヤを地面に下します。この動作を速く繰り返すこ
とで、スピードとバランスの両立を計ります。

今回の見所は、そこだけではありません。ロボッ
トの装飾にも大注目です。僕たちは、ロボットの
モチーフを、戦国武将の前田利長に決定しました。
馬に乗った利長が蒸籠を運びます。さらに、チ
ームメンバーの1人が、利長の妻、永姫に扮しま
す。その姿にも注目してください。

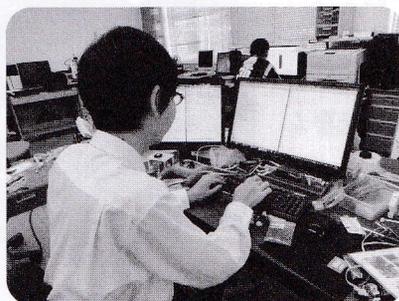
今年度の競技
は、機械的にも
電氣的にも、難
しい競技です。
しかし、それを
乗り越えてこそ、
見える物があり
ます。僕たちは
進み続けていき
ます、その場所を目指して。



皆様のご声援は、
僕たちの励みとなり
ます。これからも、
メカテック部をよろ
しくお願いします。

(メカテック部

高坂 憲太)



野 球 部 近 況 報 告

同窓会より、クラブ活動助成をいただき、どうもありがとうございました。バットの補充等に使用させていただきました。

現在、部員は5年生1人、4年生7人、3年生8人、2年生8人、1年生5人、マネージャーは1~5年生1人ずついます。野球部は、高専大会へ出場した選手は高校の大会に出場できないため、3年生以下は高校の大会、4・5年生は高専の大会に参加しております。高校チームは試験期間以外、ほぼ毎週、練習試合を行っています。

4・5年生の高専チームが参加している北陸地区高専大会は、残念ながら初戦で射水キャンパスと対戦して敗退し、全国大会へ出場できませんでした。

高校チームは、春季大会は初戦敗退でしたが、夏季大会1回戦は福光高校に9：5で勝ち、2回戦は高岡第一高校に2：8で

負け、1・2年生の新チームがスタートしています。

野球部員たちは、日々頑張っている練習していますので、大会のときには、同窓生の皆様も球場に応援に来て下さい。

野球部顧問 機械システム工学科 井上 誠



タイからの短期留学生受け入れ

今年4月末からの1ヵ月間、高専機構の包括的学术交流協定締結先であるキングモンクット工科大学ラカバン (KMITL) から4名の学生を受け入れました。本郷キャンパスでの外国人短期留学生受け入れは初めてのことで、

4月22日に開催された歓迎会は、計画から、司会進行、会場の設営までを学生会執行部が中心になって行いました。英語での司会やスピーチに加え、国旗の掲示位置や席順などの外交プロトコルの勉強など、何もかもが初めての経験でしたが、学生にとっては大変良い勉強になりました。また、留学生の自己紹介や引率教員によるKMITLの紹介、歓談での会話など、英語を母語としないアジアの人が話す英語に触れ、英語を話すことへのハードルも少しは低くなったのではないかと思います。歓迎会は終始和やかな雰囲気にも包まれ、KMITL側にも、大変喜んでいただきました。

留学生は、学生寮に滞在し、専門学科での研究のほか、専攻

科の英語の授業や校内球技大会への参加などを通じ本郷キャンパスの学生たちとの交流を深めました。同窓会より頂戴しました助成金は、最初の歓迎会のために使用させていただきました。心より御礼申し上げます。

本郷キャンパスでは、グローバル化に対応できる心身ともにたくましい技術者育成を目指し、教職員一丸となって取り組んでおります。今後とも、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

(学生主事 青山晶子)



同窓会会計報告

平成25年度 決算報告

平成26年度 予 算

収入の部

平成25年 4月1日～平成26年 3月31日

項 目	決算額	摘 要
繰 越 金	571,447	前期繰越
同窓会会費	1,665,000	会費15,000円×111名
そ の 他	13,578	E6クラス会より寄附
利 息	222	普通預金
計	2,250,247	

支出の部

項 目	決算額	摘 要
総 会 費	221,100	11/3 開催
理 事 会 費	76,663	6/22 開催
学生会助成費	160,420	志峰祭協賛金 クラブ活動助成金
ロボコン助成費	60,000	ロボコン活動 (メカテック部)
渉 外 費	40,000	「全国高専同窓会連絡会協議会」出席旅費
事務局運営費	30,000	事務局経費
会報発行活動費	794,292	会報誌「ほんごう」10月発行、総会案内含む
定期協議会費	83,365	三者懇談会 9/6 開催
支部活動助成費	40,000	クラス会助成
祝賀社行会費	150,750	花・会場設営・会費 新クラス理事への助成金
講 演 会 費	0	
負 担 金	90,420	技術振興会会費
ホームページ維持費	15,556	ホームページ更新・ドメイン利用料 レンタルサーバー料
予 備 費	0	
繰 越 金	487,671	次年度に繰り越し
計	2,250,247	

収入の部

自 平成26年 4月1日
至 平成27年 3月31日

項 目	予算額	摘 要
繰 越 金	487,671	
同窓会会費	2,040,000	会費15,000円×136人
利 息	100	
計	2,527,771	

支出の部

項 目	予算額	摘 要
総 会 費	250,000	
理 事 会 費	100,000	常任理事会を含む
学生会助成費	150,000	クラブ活動等助成 高専祭等
ロボコン助成費	60,000	2 件分
渉 外 費	60,000	「全国高専同窓会連絡会」 「ヒューマンネットワーク高専」 出席旅費
事務局費	30,000	
会報発行活動費	850,000	総会案内を含む
定期協議会費	60,000	三者懇談会費を含む
支部活動助成費	100,000	クラス会助成
祝賀社行会費	160,000	
講 演 会 費	30,000	
負 担 金	100,000	技術振興会会費
ホームページ維持費	50,000	
予 備 費	487,771	
計	2,527,771	

編集後記

瀬戸先生の顔写真を載せるために久しぶりに高専のHPを開いてみた。サイドにリンクしているサイトがいくつもあり、展開が楽しい感じがした。できれば、ほんごう会のHPもリンクして頂きたいのだが、学校とすれば、本郷キャンパスだけリンクして射水を載せないのは、無理なのかもしれません。

ほんごう会では、高専卒業生の経営する会社のHPもリンクさせていますので、参考に見てください。また、載せたいHPがあれば、連絡してください。

来年の50周年記念の行事に向け、同窓会としても資金面等で協力する予定ですので、卒業生の皆様、ご理解の程、よろしくお願いいたします。(事務局担当 Mより)

近年に逝去された先生

屋敷泰次郎	2012/5
高田 俊二	2012/5
北澤 俊嶺	2013/2
平木 道幸	2013/3
平澤 良介	2013/5
高藤 昱也	2013/5
寺田 龍郎	2013/6
石川 克	2014/8

(前号に追加記載しました)

写真部 近況報告

富山高専本郷キャンパス写真部は総員 12 名の部員数で、最近では新入部員があまり多くないですが、現在の 3 年生が多いため、彼らが盛り上げ役となっており、活気は十分にあります。去年から一年に一回以上、フォトコンテストに応募することを目標にしており、本年度も『平成 26 年度「高志の国文学」情景作品コンクール』の写真部門に応募する予定です。昨年度のフォトコンテストでは入賞することができなかったので、次はより良い結果を出せるよう、頑張っていきたいと思ひます。

普段の活動は、部員が個人的に撮影した写真を月に一回の頻度で、竹明館一階のボードに展示しています。また、校内球技大会や寮の行事などがあるときには、部員がカメラを持ち歩いて、その活気あふれる様子を写真に収め、その写真も展示しています。

同窓会より頂いた助成金は、新しいデジタルカメラに充てさせて頂きました。この場を借りてお



礼申し上げますとともに、このカメラを有効に活用して、創作活動をより活発にしていきたいと思ひます。

(写真は 5 月 23 日(金)に行われた第 15 回校内球技大会での最終種目・学科対抗リレーのゴールシーンです)

平成 25 年度 ほんごう会

講演会



参加者(抜粋)

ほんごう会のホームページアドレスは

ほんごう会 検索 <http://www.tk-hongou13.net/>

【会員専用ページ閲覧 ID とパスワード】

ユーザー ID : member

パスワード : passhongou13

英語で表示されるかも知れませんが上段に ID、下段にパスワードを入力して下さい。

なお、メールアドレスは info@tk-hongou13.net です。